

第5学年 道徳学習指導案

日時 平成17年9月8日 3校時

児童 大船渡市立大船渡北小学校 5学年1学級

男子13名 女子17名 計30名

授業者 細谷 恵美 (長期研修生)

1 主題名 ものを大切にすること [1-(1) 思慮・反省、節度・節制]

2 資料名 流行おくれ (希望を持って5年 東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領道徳の第2章、第5学年及び第6学年の内容の2「主として自分自身に関すること」の(1)に、「生活を振り返り、節度を守り節制に心掛ける」とある。1の視点は、自己の在り方を自分自身とのかかわりにおいてとらえ、望ましい自己の形成を図ることに関するものである。高学年においては、基本的な生活習慣はほぼ身に付けていると考えられるが、一人一人が自分の生活を振り返りながら継続的に指導する必要がある。そこで、自分達の生活を取り巻く生活環境や生活条件に目を向けさせ、その中でどう生きることが大切かをじっくり考えさせることができる大切な価値である。

(2) 児童について

児童は、物を大切に使用しなければいけないことは十分に理解している。しかし、あふれる情報に影響され、ゲームやファッション、小物など最新のものを求める傾向が強くなり、まだ十分に使える物も粗末に扱ってしまうことが少なくない。また、自分の利害や欲望に関することについては、他人の忠告を聞くことや冷静な判断ができない場合もよくみられる。

そこで、自分の言動を振り返り、節度ある生活をしようとする心情を育てることは大切なことだと考える。

(3) 資料について

主人公のまゆみは、社会科見学で友達が着ていく流行のジャケットが欲しくてたまらなくなる。このことをめぐる母親や弟とのやりとりを通して、自分自身の生活を振り返り節度ある生活をしていこうとする内容である。

主人公に共感させながら、自分の言動を振り返り、節度ある生活をしようとする心情を育てるのに適した資料である。

(4) 指導に当たって

導入では、ファミリーカードから「流行に影響される」「欲しくて買った物なのに、すぐに飽きて大事にしない」という観点で書かれている児童に意図的指名をし、価値への方向付けを行う。

展開の主人公の気持ちについて考える場面では、ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、自分本位な主人公の気持ちに十分共感させる。共感できにくい場合は、ハートフルカードから物を大切に使用している出来事を紹介し、自分達の行為と比べながら考えやすくさせる。自分の生活を見つめ直す場面では、ハートフルカードから保護者の気持ちを紹介してから生活を振り返らせることで、ねらいとする価値への意欲付けを図る。

(指導における基本的な考え方は、平成17年度岩手県教育研究発表会資料参照のこと)

4 本時の指導

(1) ねらい

自分の言動を振り返り、節度ある生活をしようとする心情を育てる。

(2) 展開

事前カード	<p>「思慮・反省、節度・節制」という価値にかかわる自分の出来事を家の人から聞いたり、その時の自分の気持ちを思い出したりしてカードに記入する。</p>	<p>子どもから受けた「思慮・反省、節度・節制」という価値にかかわる出来事と、その時の気持ちを書いてもらう。</p>
	<p style="text-align: center;">ファミリーカード</p> <p>設問1 もう少し物をむだにしないで大切にしたいと感じた出来事を、おうちの人から聞いて書きましょう。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どうして出来なかったのか、その時どんな気持ちだったのか、思い出して書きましょう。</p>	<p style="text-align: center;">ハートフルカード</p> <p>設問1 子どもが、物を無駄にしないで工夫しながら大切に使用して良いなと感じた出来事があったら書いてください。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。</p>

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (5)	<p>1 ねらいとする価値に興味・関心をもつ。</p> <p>おうちの人から聞いた、もう少し物を無駄にしないで大切にしたいと思った出来事について発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいゲームがでるとすぐに欲しがり、買って何回かやると飽きて放りっぱなしにしてしまう。 ・自分も同じような物(文房具等)を持っていても、友達と同じ物を欲しがる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーカードから、「流行に影響される」「欲しくて買った物なのに、すぐにあきて大事にしない」という観点で書かれている児童に意図的指名をし、価値への方向付けを行う。
展開	<p>2 資料「流行おくれ」を読んで、話し合う。</p> <p>みどりさんが新しいジャケットを着て社会科見学に行くことを知ったまゆみは、どう思ったでしょう。</p> <p>まゆみは、自分の部屋にかけ上がりながら、どんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりさんはいいなあ。うらやましいなあ。 ・わたしも新しいのが欲しいなあ。 ・たのんで買ってもらおう。 ・お母さんのけち、買って来てもらえないじゃない。 ・こんなにたのんでるのにひどい。 ・買ってもらえなくて悲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公の気持ちを考えさせる。 ・まゆみの性格も、考えさせる。 ・ハートフルカードから主人公と似た出来事を紹介し、自分達にもありがちな事であることを確認する。 ・補助発問で、母親がどうして許さなかったのかも考えさせる。

展	<p>わたるの話を聞いたまゆみは、どんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・だまって人の部屋で物を探すのはゆるせない。 ・借りないで、買ってもらえばよかったのに。 ・悪いことをしたな、本のことはすっかり忘れていた。 ・あの本には、そんな理由があったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弟に八つ当たりをする心情を理解させるとともに、弟が本を探していた理由を聞いたときのまゆみの心情を深く考えさせる。 ・友達の考えを聞いて、良いなあと思う考えを、学習シートに書かせる。
開	<p>しいんとした部屋で、まゆみはどんなことを思ったでしょう。</p> <p>3 自分の生活を見つめ直す。 今までの生活をふり返って、今日の学習をもとに感じたことを書きましよう。</p> <p>(37)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんやわたるに悪いことをしたな。 ・今までわたしは、物を大切にしていなかったな。 ・これからは、もっと物を大切にしていこう。 ・自分は今まで、新しい物ができるとすぐに欲しがっていたけど、さんのようにある物を工夫しながら大切に使おうと思った。 ・自分が欲しかったバックを誕生日に買ってもらったので、いつまでも大切に使っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルカードに書いてもらった子どもから行為を受けたときの気持ちを紹介し、相手の気持ちを意識させる。 ・友達の考え方のよさや、相手の気持ちを意識させた上で自分を見つめ直し、学習シートに記入させる。
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>(3)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことが日常に生かされていくように、意識付けを図る。